

志賀原子力発電所1号機 復水器出口導電率のわずかな上昇について

平成16年6月4日
北陸電力株式会社

志賀1号機は、定格熱出力一定運転中のところ、本日（4日）8時頃より復水器出口導電率¹がわずかに上昇していることを確認しました。これは、復水器内の細管の内部を流れる海水が復水器内へわずかに混入しているものと推定されます。

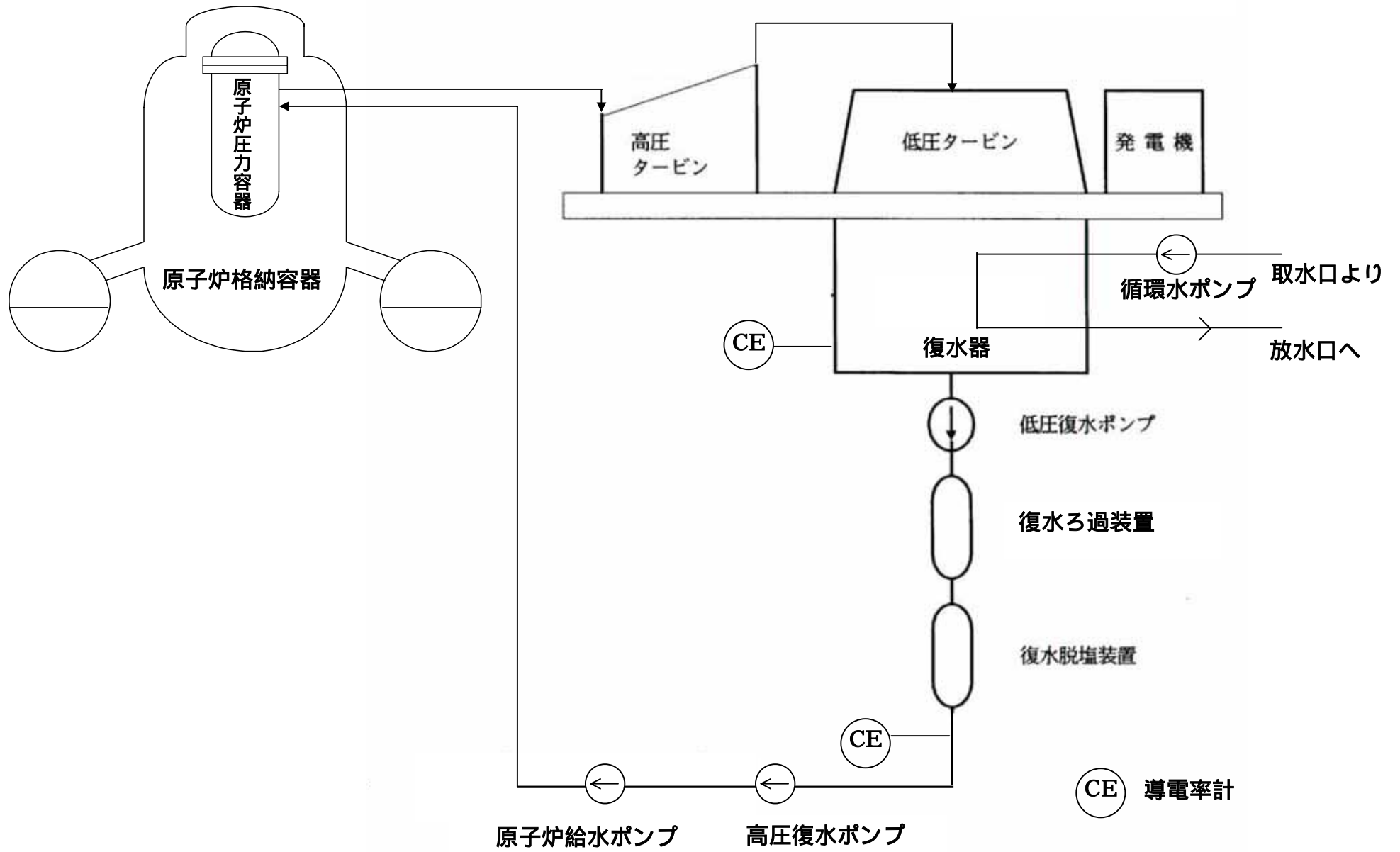
復水は「復水脱塩装置」により塩分が除去された後、原子炉へ送られておりますが、現在の混入量は復水脱塩装置²で十分除去できるものであることから、直ちに原子炉への影響が生じるものではなく、また、外部への放射能による影響はありません。

今後、監視を強化し運転してまいります。

本事象は、石川県、志賀町及び富来町と締結している覚書の連絡基準に該当しませんが、参考としてお知らせしています。

以 上

- 1 水に含まれる不純物の量を電氣的に測定した値
- 2 原子炉給水中の不純物を除去する他、万一、復水器内に海水が漏えいした場合、復水中の塩分を除去する装置



系統概略図